

国体での活躍を願う 「国体選手・競技カレレベルアップ月間」 激励式

島根県では7月を「国体選手・競技カレレベルアップ月間」とし、全県的に競技力の向上に努めています。



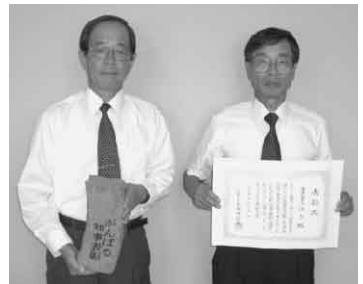
7月22日には、佐藤県体育協会専務理事をはじめ関係者が奥出雲町を訪れ、国体で活躍が期待されるホッケー成年男女を激励しました。

選手を代表して成年男子キャプテンの内田哲生さんからは「県民の皆様の期待に応えられるよう、チーム一丸となって試合に臨み、上位入賞を果たしたい」と決意表明がありました。

今年の国体は、9月30日から「のじぎく兵庫国体」として兵庫県で開催されます。

農事組合法人 ほり 県知事表彰を受賞

島根県が農業・農村の活性化に積極的に取り組んでいる地域、団体を顕彰する「がんばっている地域の活動」顕彰事業に阿井地区の農事組合法人「ほり」が選ばれ、県知事から表彰を受けました。



農事組合法人「ほり」は旧仁多町で初の集落営農法人として平成13年に23戸で設立され、現在では約30%の農作業や約100%の堆肥散布作業等を受託し、全国に誇るブランド米・仁多米の生産に大きく貢献されています。

また、水稻の紙マルチ栽培や耕畜連携による土づくり等の環境保全活動、学習水田の運営による学校教育への協力など様々な活動に積極的に取り組まれています。

多くの方が奥出雲町へ来町

タンパ大学から

ホームステイ

八月三日から五日までアメリカ・フロリダ州のタンパ大学の学生十八人がホームステイしました。

学生は国際政治学を専攻していますが、今回は日本とアメリカの政府間の出来事について文化等も含めて実際に体験してみようと奥出雲町を訪れました。

シヨンでは、岩田町長が「神話の舞台・奥出雲町へようこそいらつしやいました。今回のホームステイでは多くのことを学んで下さい」と歓迎の挨拶を行いました。

滞在中は、ホストファミリーの協力で多くの日本文化に触れ、またトロッコ列車に乗り三井野原駅からサイクリングで横田郷土資料館や絲原記念館等を訪れ、見聞を広めました。

一味同心塾では

夏の体験塾

料理研究家・中村成子先生が館長を務める「ふれあい交流館・一味同心塾」では、八月三日から六日にかけて奥出雲の豊かな自然と農業体験をするグリーンツーリズムとして夏の体験塾を開催しました。

東京等から中村先生のフ



▲ 梅干づくりに挑戦する参加者

ンや中村先生が主宰する料理教室の生徒等が参加しました。一味同心塾では、中村先生による玄米など奥出雲の食材を活かした料理教室、そば打ち、梅干づくり、そばの種まき作業、町内の農家ではぶどうやとうもろこしの収穫作業また夜には星空観察など多くの体験を行いました。

参加者からは、地元の方へ作り方等の質問も出るなど熱心で、「奥出雲の雄大な自然の中で、多くのことを楽しく体験できました」、「初めての体験が多く勉強になりました。東京でもチャレンジしてみます」などの感想が聞かれました。



▶ サイクリングを楽しむ留学生